

平成26年度

# 研究紀要

第28号

川崎市総合教育センター

## はじめに

社会が激しく変化するこの時代において将来を見据えると、少子高齢・人口減少社会、グローバル化・情報化の進展、不安定な雇用状況、社会の活力の低下への対応など、多くの課題が存在します。

川崎市総合教育センターの役割は、各学校の教育活動のさらなる充実に向けた支援や、教職員の資質・授業力の向上、教育の情報化、特別支援教育や教育相談の相談体制の確立などであることから、子どもたちを取り巻く社会的な背景や今日的な課題を踏まえながら、毎年、調査研究を行っております。

今年度の研究総括主題を、『川崎の未来を創造する子どもの育成』、実践研究主題を『社会を生き抜く力を育てる授業づくり』として、「調査・基礎研究」「実践研究」「学校との共同研究」を進めてまいりました。今年度の研究は、高等学校教育、特別活動、算数・数学、音楽、情報の5名の長期研究員と、高校の専門員研究1名、中学校のカウンセラー研究員1名、指導主事と研究員による研究会議を設置いたしました。

ここに、平成26年度に終結した各研究会議の研究内容を、研究紀要28号としてまとめることができました。この研究紀要が、これからの皆様の授業のさらなる充実や改善に少しでも役立つことができれば幸いです。また本研究に関して、ぜひ、忌憚のないご意見ならびにご指導をいただければ、なお幸いに存じます。

最後になりましたが、それぞれの研究に対しまして、ご指導ご助言いただきました川崎市総合教育センター専門員の方々をはじめ、お力添えいただきました全ての方々に厚く御礼申し上げます。

2015年3月

川崎市総合教育センター  
所長 江間 薫

## 目 次

川崎市総合教育センターの研究の推進	1
学校の校内授業研究と連携した取組	
・ ・ ・ ・ 特別支援教育センター指導主事研究	5
解決方法を結び付けて捉える子どもの育成	
・ ・ ・ ・ 算数・数学科研究会議	17
音楽を形づくっている要素から生み出す創造的な「音楽づくり」「創作」	
・ ・ ・ ・ 音楽科研究会議	37
よりよい生活づくりへの意欲を高める学級活動	
・ ・ ・ ・ 特別活動研究会議	57
情報社会を生き抜く判断力を育む情報モラル教育	
・ ・ ・ ・ 情報モラル研究会議	77
生徒の思考力・判断力・表現力等を育成するための数学科の授業改善	
・ ・ ・ ・ 高校教育研究会議	97
魅力ある商業教育を展開するために	
・ ・ ・ ・ 専門研究員による研究	115
好ましい人間関係を育む手立て	
・ ・ ・ ・ カウンセラー研究員による研究	123

気づきの質を高めるための授業づくり

・・・生活科研究会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 3 1

児童生徒が主体的な学び手となる授業の工夫

・・・図画工作・美術科研究会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 3 5

生徒の実態を踏まえた指導計画の作成

・・・技術・家庭科研究会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4 1

外国語活動の授業の進め方

・・・外国語活動研究会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4 5

帰国・外国人児童生徒への日本語指導の工夫

・・・国際理解研究会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5 1

小学校・中学校におけるがんについての授業

・・・健康教育研究会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5 9

日常的な授業の中での情報活用能力の育成

・・・情報教育研究会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6 7

みんなで作る事例検討会

・・・学校教育相談研究会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 7 3

ライフステージに合わせた特別支援学級・学校の教育課程の在り方

・・・特別支援教育研究会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 8 1